



今野さんのオススメオイルは10W45のZZ-02 (1890円/1L)と10W50のNC-50 (2520円/1L)。お客の負担を考え、1回のオイル交換では1万円前後を上限に考えているとか。



なんとも不思議なショップである。外観上の佇まいはバイク屋なのだが、新車や中古車が並ぶワケではない。カスタムバイクの製作には関わるが、コンピュータ車など車輛全体をプロデュースすることも滅多にない。その仕事の70〜80%を部品製作が占め、しかもワンオフパーツが多いから、既製品のようにパーツの見本は置いていないという。オーナー自らが「バイクがわかる鉄工所」と呼ぶこのショップ、今回は愛知県清須市にあるエクストリームガレージを紹介したい。「アメリカンからスクーターまで、車種はなんでも扱います。でも中心となる

のは、80〜90年代のリッターバイクが多いですね。自分が以前ニンジャに乗っていたから、その影響もあるのでしょうか」そう語るのはオーナーの今野さん。誘われるままに店内へお邪魔すると、大きな倉庫を1棟まるまる使うショップの内部は、貸しガレージ、くつろぎスペース、作業場、オフィスが混然としている。右手には真っ赤なOHCのCBが2台並んでおり、その手前には作業中のビッグスクーター、奥には車検整備の1000カタナとカスタム途中のTWが。言葉通り雑多とした車種が並んでいる。一番奥は、このショップのキモである作業スパー

スで、大型の旋盤からフライス盤、ボール盤に溶接機と、工作機械が揃う。「もともとNCや旋盤を使う鉄工所勤めをしていたものだから、溶接も含めて切った貼ったのほとんどをこなせます。だからホイール取り付けに必要なカラーの製作から、異なる車種のエキパイとサイレンサーをつなげるための溶接など、作業の内容はもういろいろですね。レー

ショップ最深处は工作エリアとなっており、ここでお客様の要望をカタチにしていく。年季の入ったフライス盤や計測道具など、使いこなしている様子が見える。既存のパーツを愛車に合わせて加工したり、もちろん専用一品製作したりと、「あったらいいな」をカタチにする夢工房だ。

NUTEC

NUTEC SPECIAL SHOP INTERVIEW

ワタシが

を選ぶ理由

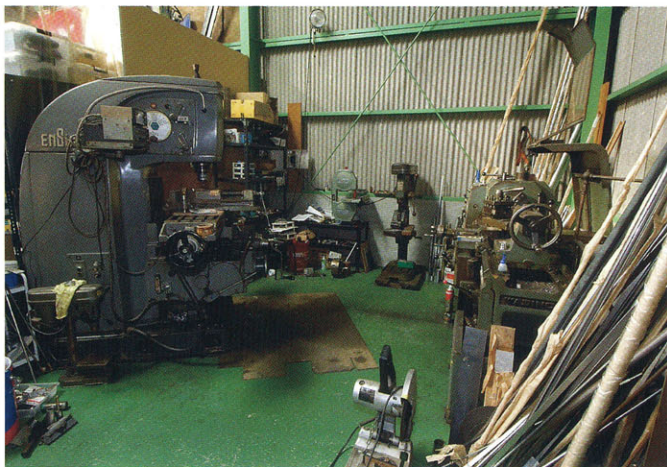
プロが語るオイル & ケミカル事情

第7回 | EXTREME GARAGE

Text/Kazuma Takagi 高城一磨 Photo/Takao Isobe 磯部孝夫
取材協力/エクストリームガレージ Phone 052-505-6128
<http://www14.plala.or.jp/extremegarage/index.htm>

培ってきたモノ作りの技術、それは夢を形にする魔法の杖

切削作業から溶接加工まで、工作機械を巧みに操る鉄工所がもっと身近な存在ならば、バイク乗りはもっとカスタム好きになっていたかもしれない。今回は、モノづくりに燃える「バイクがわかる鉄工所」を紹介しよう。



ガレージとしても利用可能

ショップ内部の一角は車輛を保管する貸しガレージスペースとして活用しているが、残念ながら現在は満室。写真の懐かしいCBも預かり車輛の一部だ。お邪魔した当日は残暑厳しく30度以上だったけど、中はエアコン完備のため、結露の心配もない。保管コンディションまで気にする人には、オススメだ。



スをやっていたこともあり車輛の整備もひと通り可能ですが、周りを見回してみればオーナーの細かな要望に応じることが出来るバイクに精通したパーツ製作が可能なショップは少なく、ならば自分の得意分野を生かしてやってみようかと」

普通の鉄工所でもパーツ製作は依頼できるが、寸法を入れた図面を使いオーダーする必要がある。鉄工所側が必ずしもバイクを知っているとは限らないため、オーダー通りの仕上がりを期待するならばこれは必要な作業。だが、普通の人は寸法公差例えばパーツをはめ合わせる場合、組み合わせる内径と外径がまったく同じ寸法では実際のところ干渉してハマらない。そのためどちらかを僅かに小さい、もしくは大きい寸法で作る必要があるを含めた図面指示は難しく、ここがまず専門になる。ところが、



入り口近くには、雑誌や音楽、DVDが楽しめる憩いの場がある。音楽好きの今野さんの趣味が色濃く反映されているスペースだ。ニューテックもオイルを中心に陳列。必要な分だけ購入して自分で交換するお客が多いとか。



今野さんのお気に入りにはNC-100ハイパーMPグリス(価格はオープン)。高い耐熱性に加え薄く伸びる特性から、ベアリングからシャフト類まで車体全体に使う。1本ですべてをカバーできるグリスとして、かなり重宝しているようだ。

エクストリームガレージではどんなパーツが欲しいのか口頭での説明と、それを装着するバイクを持つてきてもらえれば、現物を採寸しながら最良の方法を探り、オーナーに説明してくれるという。「直接話を聞いて、それを実現するためにはどんな工程が必要なのか。小さなパ

ーツをひとつ作るにも、そこに必要な強度や耐久性を考えれば、材質の話までしなくてはならないときもある。それもその人とバイクの付き合い方を含めて考えることができれば、より具体的に仕様を絞り込むことが可能じゃないですか。そこまでやれば、お客さんも安心して

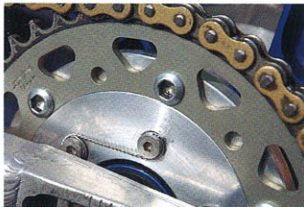
オーナーの夢をカタチにする

溶接作業も自由自在



上はニンジヤのチェーンラインに干渉するフレームを一部切断し、プレートを挟み外に追いやった例。丁寧な溶接とペイントで違和感はない。RM-Z用のオイルキャッチタンクとリザーバータンクのステーも、溶接による一品ものだ。

削り出しパーツも得意



ホイールに合わせたスプロケットキャリアの製作からオイルクーラーのステーまで、削り出しパーツはどんな形状でも製作可能。「こんなカタチのコレが欲しい!」そんなアバウトな説明でも、意思を汲み取りカタチにしてくれる。

時にはディメンション変更も



これはニンジャに試している例だが、スイングアーム長をやや伸ばして、リアの動きを落ち着きあるものにしたが前輪荷重を増やし、同時にトリプルツリー側でオフセット量を減らし安定成分を確保。レースの経験が生きたところだ。

頼まれればなんでも作る



これは現在製作中のTWストリートカスタム。TZRの倒立フォークや極太スイングアームなど、レプリカ仕様のゴツい足周りを装着する例が流行りつつあるとか。頼まれれば、車輛を1台まるまる面倒を見ることも、もちろん可能だ。

頼れるカスタムの駆け込み寺



東名阪自動車道の清州東インターを降り、22号線を南下し「古城」を左折すると、すぐ右手に表れるエクストリームガレージ。オーナーの今野さんは現在モタードにハマっており、RM-Z250でMOTO2クラスに参戦中。以前没頭したロードレースとはまた違った楽しみがあるという。モタードに関する問い合わせも大歓迎。

- 住所: 愛知県清須市西枇杷島町城並2-11-7
- 電話: 052-505-6128
- 営業時間: 11:00~20:00
- 定休日: 月曜&レース・イベント日

てくれるし、こちらの作業に対して理解もしてくれる。ときには、そこから違うアイデアが生まれることもありますし」そんなエクストリームガレージの作業スペースには、ニューテックのケミカル類が多く目につく。とくにMPグリスやオスモシルは、ちょい古な車輛の整備には欠かせないのだとか。「レース畑にいたもので、エンジンオイルには以前から興味がありました。他の競合オイルに較べて、トルク感が薄い代わりに回転は軽い。あと価格と性能のバランスが、かなりいいかな。そこから興味を持って、今はケミカルも使っています」現在はバイク関係以外に、医療用のリハビリ歩行器まで製作している今野さん。作ることで人の手助けをしたい。モノを生み出す興味はそこからスタートしている。